

# 水上を豪快に



「この気持ちが高まりました」と、大きな支えを得て、第2・3次試験にも合格。初めての挑戦で、応募者951人中、合格者51人という難関を見事突破しました。



▲養成所内でみんなと笑顔の野田選手（下段、中央）

## 養成所を経て、 念願のプロデビュー

養成所での生活は大変厳しく、6時の起床から22時の消

灯まで、分刻みのスケジュールが組まれています。40kg以上あるモーターの持ち運びや制限時間内のエンジン整備、法規の勉強などの多様な訓練や講習があり、「これまで経験したことのないことばかりで、みんなに置いていかれないように必死でした。初めてボートに乗った時は怖くて、先輩レーサーのようになるのだろうか」と不安でした」と野田選手は当時を振り返ります。

厳しく管理された環境と、養成所内の試験を乗り越え、野田選手は令和元年11月、ついに念願のプロデビューを果たします。



▲先輩レーサーからレバー操作を教わる野田選手

「家族や友人が応援に来てくれ、お祝いのメッセージもたくさんもらいました。今までで一番嬉しい、心に残る1日でした」と笑顔を輝かせます。

## 多久市で育まれた プロレーサー

プロデビュー後も多久市の実家で暮らし、近所でのランニングなど、日々のトレーニングに励む野田選手。レースから帰って来ると、近所の人が「おかせりなさい」と声を掛けてくれ、いつも家族のような温かさを感じているそうです。

ボートレースを知ることから始めて、プロへの道を拓いた野田選手。「一番好きなことができ、道を選んだからこそ、どんな困難にも挑戦し、乗り越えることができました。多久市の子どもたちにも、自分が一番好きなこと、楽しいと思うことを続けて、なりたい自分になってほしいですね」と話します。

目標とするのは、力強い走り特徴の平高奈菜選手。外から大きく旋回したり、全速力で走り抜けたりと、男性にも力ではないレーサーになることを目指しています。

既に数多くのファンがつき、名入りの横断幕も作ってもらったという野田選手。「ボートの上からも観客席は見えていて、いつも力をいただいています。やはり地元なので、多久市のみなさんにも応援していただけたら嬉しいですね」と笑顔で話

ます。  
迫力あふれるレースで活躍する野田選手を、多久市のみなで応援しましょう！



▲仲間たちと切磋琢磨してレースに挑みます！（左から3番目）

### 野田選手の詳細はコチラ！



公式 Instagram



公式 Twitter



BOAT RACE  
オフィシャルウェブサイト

問い合わせ ボートレースからつ 企画宣伝課 広報宣伝係 ☎0955-77-1311